

### 「建設技術展」に出展 ～ 会員と協働して圧入工法をPR ～

(一社)全国圧入協会(JPA)は、産官学に対する広報事業の一環として、「建設技術フェア in 中部」「建設技術展・近畿」に出展し、圧入工法を広く紹介しています。建設技術展の出展に際しては、参画を希望する会員企業と協働してPR活動を行っています。今年度の建設技術展の状況についてご報告します。

#### 建設技術フェア 2017 in 中部 / 名古屋市・吹上ホール

「建設技術フェア 2017 in 中部」は10月18日(水)、19日(木)に、吹上ホール(名古屋市中小企業振興会館)で開催されました。主催は国土交通省中部地方整備局と名古屋国際見本市委員会で、屋内・屋外の展示会場には「防災・災害対策」「i-Construction・設計・施工」など5つの分野、合計272の企業・団体が出展しました。建設技術フェアには、2日間で約15,000名が来場しました。

当協会は「防災・災害対策」の分野で出展。出展ブースには、パネル、ジオラマ、圧入機の模型、映像などを展示。パネルは、既に圧入された杭材を反力として静荷重によって杭を地中に押し込むという圧入原理を説明したものや、比較的柔らかい地盤から硬質地盤まで地盤条件に適合した硬質地盤クリア工法など。ジオラマは、住宅地や鉄道近接など施工ヤードの狭い場所、擁壁による道路拡幅などノンステージング工法での圧入施工の様子を立体的に示しています。これらの出展物をもとに(株)梶川建設、ジオテック(株)、(株)角藤、(株)技研施工が説明者として参画。説明者は、展示内容に加え自社の会社案内や実績資料を用意し、自社についてのPR活動を行いました。

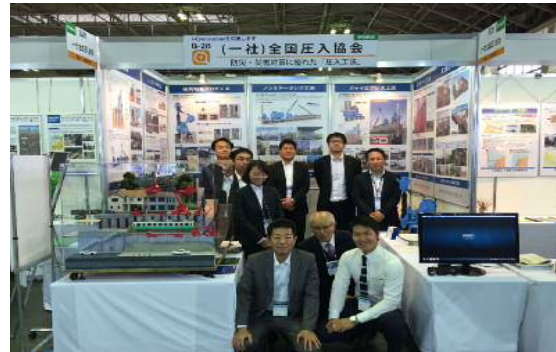
このほか、協会は初日に「防災技術に優れた『圧入工法』」と題してプレゼンテーションを行いました。

#### 建設技術展 2017 近畿 / 大阪市・マイドームおおさか

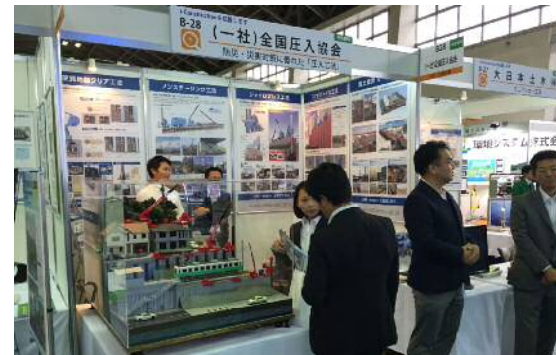
「建設技術展 2017 近畿」は10月25日(水)、26日(木)に、マイドームおおさかで開催されました。この建設展は毎年約15,000名が来場する大規模な建設展です。

防災や災害復旧に関する意識が高まっている中、当協会は圧入工法および硬質地盤クリア工法を主なテーマに「防災」の分野で出展。会員企業からは、土保産業(株)、(株)技研施工が説明者として参画しました。出展ブースには、建設技術フェア 2017 in 中部と同様に、パネル、ジオラマ、圧入機の模型、映像などを展示し、会員企業と協会の技術員が協働して来場者へ圧入工法の紹介・説明に努めました。

「建設技術フェア 2017 in 中部」「建設技術展 2017 近畿」は、企業関係者だけでなく官公庁や自治体、また学生が数多く来場しました。環境性・安全性・急速性・経済性・文化性に優れた圧入工法の普及および社会貢献、さらに自社のPR活動を行うことは、企業としてのブランド力を高めることにつながります。今後の出展に際して、多くの会員企業の参画をお待ちしています。



▲展示ブースの前で記念撮影(名古屋市)



▲印象的なレイアウトで説明(名古屋市)



▲圧入工法に関心が深まります(大阪市)



▲和やかな雰囲気です圧入工法を説明(大阪市)

(一社)全国圧入協会(JPA)は、技術講習会や現場見学会等の実施を通じて圧入工法の普及を図っています。ここでは、現在注力している、国土交通省・自治体へ向けた工法普及活動について紹介します。

#### 国土交通省への工法普及活動

北陸地方整備局では、大源太川第1号砂防堰堤の補強に伴い、大源太湖の仮締切工にジャイロプレス工法が採用されています。そこで、ジャイロプレス工法の知識習得を目的に、10月3日に湯沢町で「現場見学会」が開かれました。

現場見学会には、現場に関わる発注者・建設会社の技術者17名が参加。参加者からは、地中障害物がある場合の施工方法など活発な質疑が交わされました。

中部地方整備局では、12月12日に豊橋河川事務所が主催した「建設ICT勉強会 in 豊橋」に参画しました。この講習会はi-Constructionがテーマで、建設関係者91名が参加。当協会は「最新の圧入工法及び圧入施工の自動化」と題し、現場条件別の圧入工法の事例や自動化技術について解説を行いました。

#### 自治体への工法普及活動

当協会は、大規模地震と大津波に備える防災技術の普及を目的に、太平洋沿岸の自治体に対し工法普及活動を展開しています。9月から11月にかけて、静岡県、愛知県内の各土木事務所等(焼津・御前崎・熱海・沼津・名古屋・一宮)が主催する「技術講習会」で、災害に強い圧入工法について講習を行いました。

当協会は、国土交通省の各地方整備局ならびに自治体に対し、上半期に約100ヶ所の部署・事務所等に圧入工法の普及活動を行っています。今後も圧入工法のさらなる普及に向けて活動を展開していきます。

#### ▼技術講習会等の実施状況(2017年9月～12月)

地方整備局	事務所名	実施日	受講者数
北陸地方整備局	湯沢砂防事務所	10月3日	17名
中部地方整備局	木曾川下流河川事務所	10月16日	21名
	豊橋河川事務所	12月12日	91名
自治体名	事務所名	実施日	受講者数
静岡県	焼津漁港管理事務所	9月22日	27名
	御前崎港管理事務所		
	熱海土木事務所	10月4日	27名
	沼津土木事務所	11月21日	31名
愛知県	名古屋港管理組合	10月20日	20名
名古屋市			
愛知県	一宮建設事務所	11月7日	25名



▲圧入施工状況を熱心に見学(北陸地整)



▲沼津土木事務所等の皆さん(静岡県)

## Infomation

### 事務局からのお知らせ

◇「圧入工法 積算ソフト」の活用で  
**積算業務の効率化につなげてください**

(一社)全国圧入協会は、圧入工法の積算に携わる方に、積算業務の煩雑さを解消し、業務の効率化を進めていただくことを目的に「圧入工法 積算ソフト」を制作しています。

この積算ソフトはエクセル形式で、項目ごとに必要事項を選択・入力することにより容易に積算書の印刷ができます。

詳しくは協会ウェブサイト参照のうえ、どうぞご購入ください。

▲ご注文は協会ウェブサイトより!

協会 Web サイト [www.atsunyu.gr.jp](http://www.atsunyu.gr.jp)

#### 【新会員のご紹介】

正会員 ・(株)谷口様 富山県高岡市  
 ・ユニオン基工(株)様 大阪府羽曳野市  
 ・(株)キョクトー様 山口県下関市  
 (2017年9月～12月入会、入会順・会員別)

#### 【会員数の状況】(2017年12月18日現在)

・正会員 185社  
 ・協賛会員 24社  
 ・賛助会員 3社4団体  
 ・特別会員 6名

▶次頁もどうぞご覧ください

本年もお世話になりました。2018年も協会活動にご協力をよろしくお願い申し上げます。事務局一同

# 「メンテナンス部門賞」(渡辺アーステック株) をご紹介！

～ パートナーである圧入機・道具類を大切にしている心が能率向上に直結 ～

圧入工法のさらなる発展を目的に導入した表彰制度。このうち、圧入技術表彰には「メンテナンス部門賞」を設けています。「メンテナンス部門賞」は、ビジネスパートナーである圧入機や道具類を大切に、予防保全を始めとするメンテナンスに注力し、現場ならびに自社の能率向上・安全の確保を実践している会員企業を顕彰するものです。2017年度のメンテナンス部門賞は、渡辺アーステック株が受賞しています。

「人」と「機械・道具類」が一体となり、成果を挙げている受賞企業の取り組みについて紹介します。

## 圧入機ごとにオペレーターによる“一括管理体制”

圧入機は、それぞれ現場条件に即して稼働しています。したがって、特に点検しておく箇所はないか、整備や補修等を行う箇所がないかなどについて、圧入機ごとに日頃から注意深く目配りすることが大切です。

そこで、渡辺アーステック株は、オペレーターが各自1台ずつ担当する圧入機を決め、日常の点検や整備等を行っています。圧入機だけではなく、ケーシング・オーガスクルー・オーガヘッドなどの部品や溶接機、道具類についても圧入機ごとに揃え、担当オペレーターが日常的に点検・整備する体制を敷いています。この“機械・道具類の一括管理体制”は、①圧入機で異なる特性や状態を常に把握できる。②圧入機の些細な異変や不具合の予兆を感じ、先手を打って予防処置がとれる。③以前に発生した不具合の履歴を記録し比較することによって、よりの確な保守・メンテナンスができるなどが効果として挙げられます。オーガヘッドなどは、こまめに補修をすれば長持ちをしますので、原価の低減に直結しています。なにより以前にも増して、オペレーターが圧入機や部品・道具類に対し、愛情を持って接しています。

## 手法の水平展開とレベルアップ

硬質地盤圧入機は、労働安全衛生法により1年に1回、資格を持つ検査員による「特定自主検査」を受けなければなりません。渡辺アーステック株では、オペレーターに検査員の資格を持たせ、自社内で特定自主検査ができる体制を整えています。この体制によって計画的・効率的に特定自主検査を行っています。そして、特定自主検査を含むメンテナンス手法の全般にわたり水辺展開を図っています。事務所には圧入機に関する様々な技術資料が備え置かれ、オペレーターが競って正しいメンテナンス手法の理解に努めています。点検や補修などの際は、機械を並べてオペレーターが互いに指摘し合いながら行っています。このようにして、社内にはオペレーター間で話し合い、競争意識を高め合いながらメンテナンスに取り組む雰囲気にあふれています。

## 置き場を整理・整頓し、機械を大切に

現場から圧入機一式が戻ってきたら、動作確認・グリスアップ・油漏れがないかなど、担当のオペレーターを中心に入庫検査と日常の管理を行っています。そして、圧入機や道具類は、常に置き場に整理・整頓され、手入れが行き届いた状態で保管しています。渡辺アーステック株は、オペレーターをはじめ社員全員が利益の源である圧入機や道具類に感謝の気持ちを持ち、圧入施工という仕事に誇りをもってさらなる繁栄を築いていきます。



▲補修は直ちに行います



▲社員同士で指摘し合いながら水平展開



▲置き場も機械もいつも整然と保管